

## ワールド・リート・セレクション (アジア)

第182期末(2022年10月7日)	
基準価額	4,929円
純資産総額	34,789百万円
第177期～第182期	
騰落率	△ 1.2%
分配金(税引前)合計	210円

## ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)

第19期末(2022年10月7日)	
基準価額	19,866円
純資産総額	985百万円
第19期	
騰落率	△ 1.0%
分配金(税引前)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## ワールド・リート・セレクション (アジア) ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)

追加型投信/海外/不動産投信

作成対象期間：2022年4月8日～2022年10月7日

## 交付運用報告書

ワールド・リート・セレクション (アジア)  
第177期(決算日 2022年5月9日) 第180期(決算日 2022年8月8日)  
第178期(決算日 2022年6月7日) 第181期(決算日 2022年9月7日)  
第179期(決算日 2022年7月7日) 第182期(決算日 2022年10月7日)  
ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)  
第19期(決算日 2022年10月7日)

### 受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。さて、このたび、「ワールド・リート・セレクション(アジア)」は第182期の、「ワールド・リート・セレクション(アジア)(年2回決算型)」は、第19期の決算を行いました。

当ファンドは、アジアリート・マザーファンドを通じて、アジア(日本を除きます。)の不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ  
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

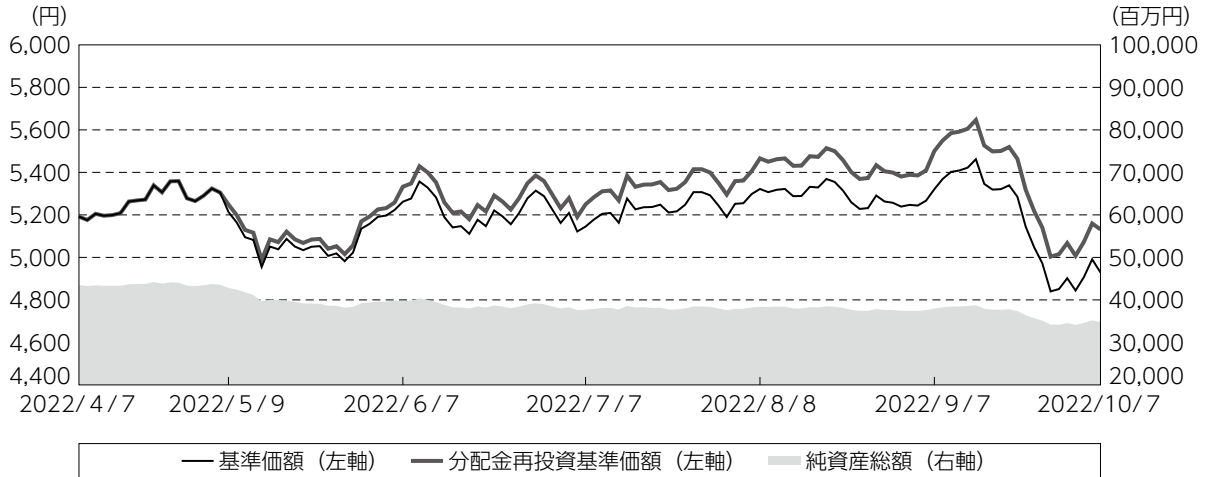
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

## 運用経過

### 作成期間中の基準価額等の推移

(2022年4月8日～2022年10月7日)

#### 【ワールド・リート・セレクション (アジア)】



第177期首：5,192円

第182期末：4,929円 (既払分配金 (税引前)：210円)

騰落率：△1.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2022年4月7日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

#### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

##### (主なプラス要因)

- ・為替が対シンガポールドルや対香港ドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

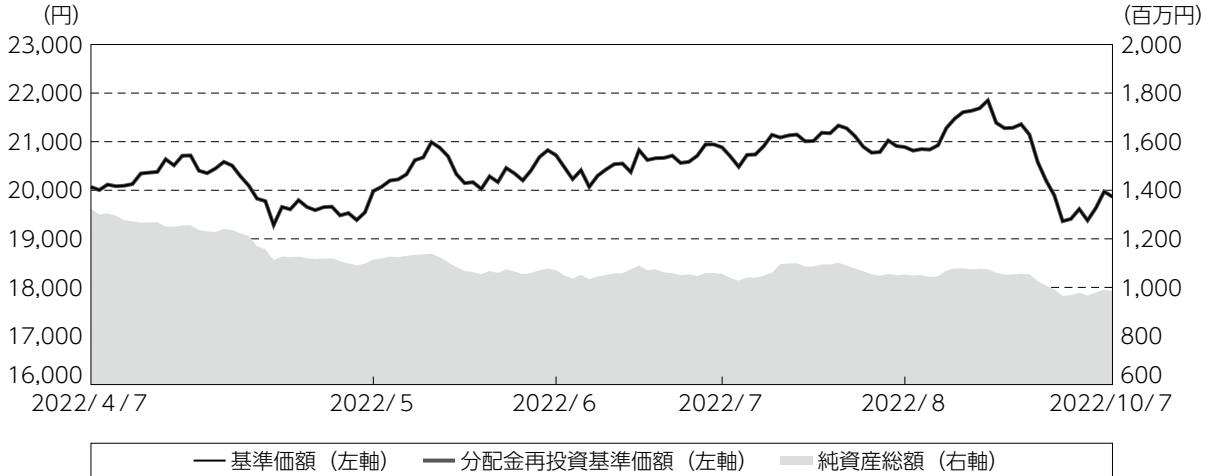
##### (主なマイナス要因)

- ・香港の領展房地產投資信託基金 (リンク・リアル・エステート・インベストメント・トラスト) やシンガポールのキャピタランド・インテグレートッド・コマーシャル・トラストなどが下落したことがマイナスに影響しました。

期中の基準価額等の推移

（2022年4月8日～2022年10月7日）

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】



期首：20,068円

期末：19,866円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：△1.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年4月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・為替が対シンガポールドルや対香港ドルで円安となったことがプラスに寄与しました。

（主なマイナス要因）

- ・香港の領展不動産投資信託基金（リンク・リアル・エステート・インベストメント・トラスト）やシンガポールのキャピタランド・インテグレートッド・コマーシャル・トラストなどが下落したことがマイナスに影響しました。

(2022年4月8日～2022年10月7日)

1 万口当たりの費用明細

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

項 目	第177期～第182期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	43 (26) (14) ( 3 )	0.827 (0.496) (0.276) (0.055)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 投 資 信 託 証 券 )	0 ( 0 )	0.006 (0.006)	(b)売買委託手数料＝作成期間中の売買委託手数料÷作成期間中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 投 資 信 託 証 券 )	1 ( 1 )	0.019 (0.019)	(c)有価証券取引税＝作成期間中の有価証券取引税÷作成期間中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( そ の 他 )	2 ( 2 ) ( 0 ) ( 0 )	0.045 (0.038) (0.007) (0.000)	(d)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	46	0.897	
作成期間中の平均基準価額は、5,185円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

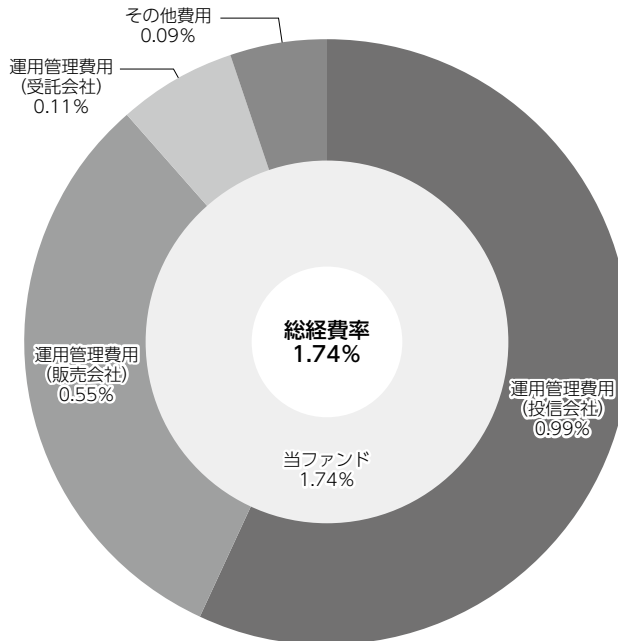
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

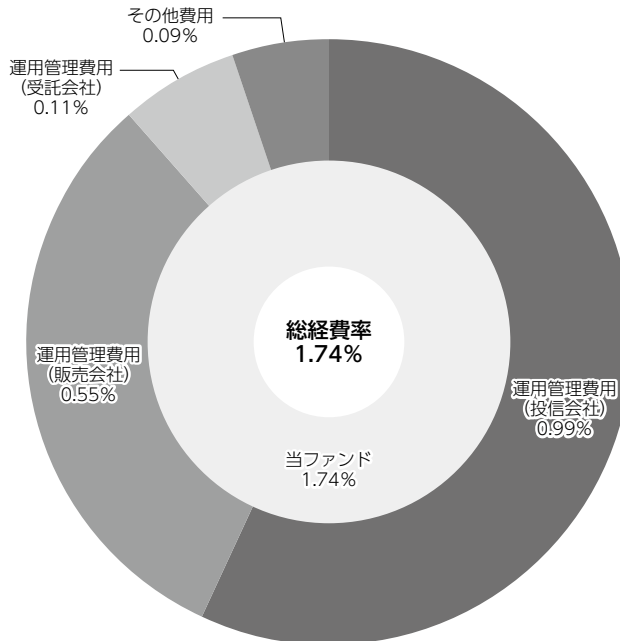
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 （ 投 信 会 社 ） （ 販 売 会 社 ） （ 受 託 会 社 ）	169 (101) ( 56) ( 11)	0.827 (0.496) (0.276) (0.055)	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 （ 投 資 信 託 証 券 ）	1 ( 1)	0.006 (0.006)	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 （ 投 資 信 託 証 券 ）	4 ( 4)	0.019 (0.019)	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 （ 保 管 費 用 ） （ 監 査 費 用 ） （ そ の 他 ）	9 ( 8) ( 1) ( 0)	0.045 (0.038) (0.007) (0.000)	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	183	0.897	
期中の平均基準価額は、20,389円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

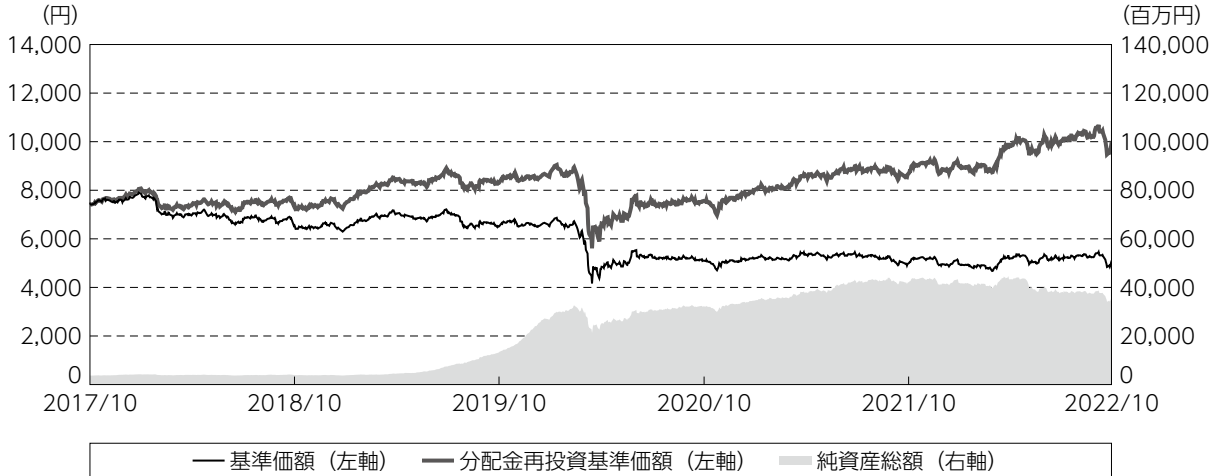
(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2017年10月10日～2022年10月7日)

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年10月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年10月10日 期初	2018年10月9日 決算日	2019年10月7日 決算日	2020年10月7日 決算日	2021年10月7日 決算日	2022年10月7日 決算日
基準価額 (円)	7,404	6,531	6,482	5,087	4,902	4,929
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	840	840	840	840	630
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.6	12.4	△ 8.9	13.2	13.9
S & PシンガポールREIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) 騰落率 (%)	—	2.5	24.1	△ 4.3	4.3	△ 6.5
S & P香港REIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) 騰落率 (%)	—	10.6	24.2	△ 25.0	10.9	△ 15.2
純資産総額 (百万円)	3,682	3,916	12,969	32,045	41,348	34,789

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S & PシンガポールREIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) およびS & P香港REIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。



【ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2017年10月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2017年10月10日 期初	2018年10月9日 決算日	2019年10月7日 決算日	2020年10月7日 決算日	2021年10月7日 決算日	2022年10月7日 決算日
基準価額 (円)	14,925	14,864	16,769	15,311	17,395	19,866
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.4	12.8	△ 8.7	13.6	14.2
S & PシンガポールREIT指数 (課税 後配当込み) (現地通貨ベース) 騰落率 (%)	—	2.5	24.1	△ 4.3	4.3	△ 6.5
S & P香港REIT指数 (課税後配 当込み) (現地通貨ベース) 騰落率 (%)	—	10.6	24.2	△ 25.0	10.9	△ 15.2
純資産総額 (百万円)	75	40	240	1,737	1,625	985

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) S & PシンガポールREIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) およびS & P香港REIT指数 (課税後配当込み) (現地通貨ベース) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

## 投資環境

(2022年4月8日～2022年10月7日)

アジアリート市場は、シンガポールでは、2022年4月中旬はシンガポール金融管理局(MAS)が金融引き締めを決定したことを受けて上値の重い展開となりました。5月に入ると、長期金利の上昇や株式市場の下落が嫌気され、軟調に推移しました。その後、中国の上海で都市封鎖(ロックダウン)が6月中に解かれる見通しが示されたことを受けて、景気回復期待が高まる一方、主要国の中央銀行がインフレ抑制を目的に金融政策の引き締めを加速するとの見方が広まり、一進一退の動きが続きました。7月下旬以降は、長期金利が低下する中、オフィスや産業施設の賃料の改善が好感されたことなどから、堅調に推移しました。しかし8月下旬以降、主要国で金融引き締めが加速するとの見方から長期金利が再び上昇基調を辿り、世界的な景気減速懸念が高まったことや、アジア地域の通貨が米ドルに対して下落し、資金流出懸念が高まったことなどを背景に、下落する展開となりました。香港では、5月中旬以降、中国上海でのロックダウン緩和の見通しが示されたことや、中国人民銀行が期間5年以上のローンプライムレート(LPR)を市場予想以上に引き下げたことが好感され、上昇基調を辿る展開となりました。しかし6月上旬から中旬にかけては、米国を中心とする先進国の金融引き締めに対する警戒感から反落しました。その後もみ合う動きが続きましたが、8月下旬以降は、中国本土での新型コロナウイルスの感染拡大や猛暑と干ばつによる深刻な電力不足を背景に、中国の景気減速懸念が強まり下落しました。9月下旬には、米中対立への懸念や世界的な景気悪化懸念から更に下落しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2022年4月8日～2022年10月7日)

### <ワールド・リート・セレクション (アジア) >

「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね90%以上で推移させ、高位の組入れを維持しました。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

### <ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型) >

「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入比率は、概ね90%以上で推移させ、高位の組入れを維持しました。また、実質組入外貨建資産につきましては、運用の基本方針に則り、為替ヘッジを行いませんでした。

### ○アジアリート・マザーファンド

リーートの組入比率は、概ね90%以上を維持し、高位を保ちました。

アジアの経済動向や市場規模および個別銘柄のバリュエーションに注目し、市場別の投資比率や個別銘柄の組入比率を設定しました。また、保有銘柄の入れ替えを行い、最適なポートフォリオの構築を目指しました。

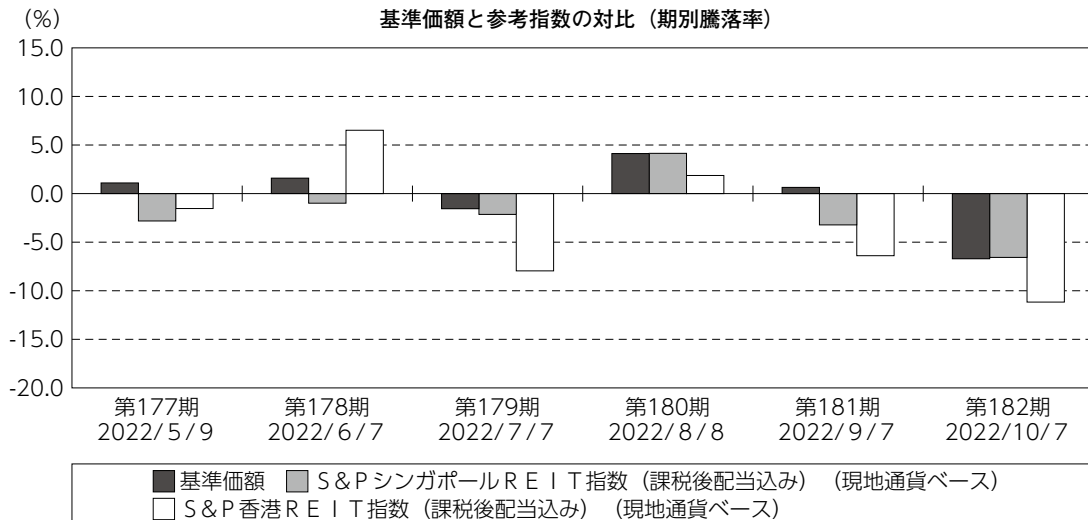
個別ではシンガポールのSPH REITなどを全口売却しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年4月8日～2022年10月7日）

【ワールド・リート・セレクション（アジア）】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

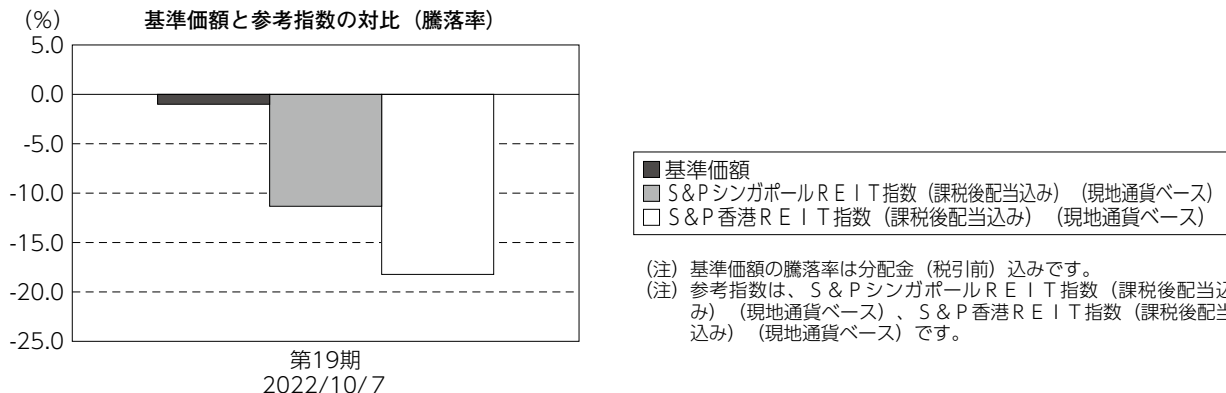


(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) 参考指数は、S & P シンガポール R E I T 指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）、S & P 香港 R E I T 指数（課税後配当込み）（現地通貨ベース）です。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



## 分配金

(2022年4月8日～2022年10月7日)

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。各ファンドの収益分配金につきましては、下記の通りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

### 【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

当作成期間におきましては、第177期から第182期の決算時に、それぞれ1万口当たり35円（税引前）、合計210円（税引前）の分配を行いました。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第177期	第178期	第179期	第180期	第181期	第182期
	2022年4月8日～ 2022年5月9日	2022年5月10日～ 2022年6月7日	2022年6月8日～ 2022年7月7日	2022年7月8日～ 2022年8月8日	2022年8月9日～ 2022年9月7日	2022年9月8日～ 2022年10月7日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.667%	0.661%	0.676%	0.653%	0.653%	0.705%
当期の収益	35	35	2	35	28	—
当期の収益以外	—	—	32	—	6	35
翌期繰越分配対象額	2,108	2,160	2,129	2,221	2,221	2,186

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### 【ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)】

当期間におきましては、安定した収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を目指す観点から、分配を見送らせていただきました。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第19期
	2022年4月8日～ 2022年10月7日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	9,865

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### (投資環境)

アジアリート市場は、シンガポールでは、主要国中央銀行による金融引き締め姿勢の強まりを背景にリスク資産全般に市場変動性が高まっており、当面は不安定な展開が予想されます。一方、経済活動の再開が本格化する中、リートの業績回復が期待されます。年末にかけて複数の大型イベントを控え、ビジネスや観光目的の利用者増が見込まれるホテルに投資するリートや、需給面で新築物件の完成の遅れにより供給が少ないことが賃料増額改定につながると予想されるオフィスに投資するリートに投資妙味があると見ています。産業施設は電子商取引（EC）の普及拡大に伴い物流や倉庫への需要増が期待されるほか、相対的なバリュエーションは改善しています。香港では、中国の景気減速懸念や不動産問題など先行きの不透明感が残るため、不安定な展開が予想されます。ただ主要リートが投資する郊外型商業施設では、食料品や日用品等の生活必需品を数多く取り扱っており、リートの業績は安定的に推移すると考えられます。

### (運用方針)

<ワールド・リート・セレクション (アジア) >

<ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型) >

主要投資対象である「アジアリート・マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては、組入比率が高位にならない場合があります。

### ○アジアリート・マザーファンド

リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図（外国為替予約取引の指図を除きます。）に関する権限を委託しています。なお、リーフ アメリカ エル エル シーは投資判断に関しDWSインベストメンツ・オーストラリア・リミテッドに再委託しています。再委託先運用会社では中長期的な見通しに基づき各市場への投資配分およびセクターごとの投資比率を決定します。その上で個別銘柄のファンダメンタルズ分析に基づくボトムアップ・アプローチにより、銘柄の選択を行い、ポートフォリオを構築します。

## お知らせ

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

【ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)】

該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

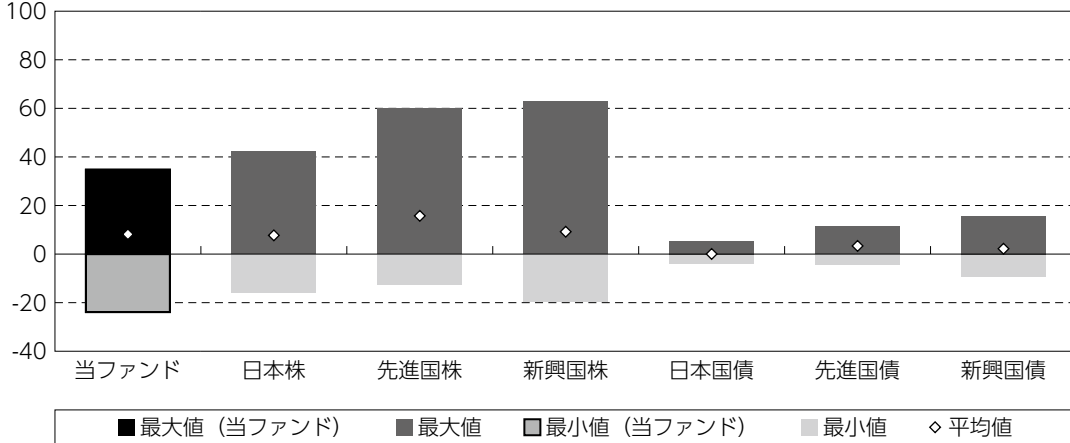
商品分類	追加型投信／海外／不動産投信	
信託期間	ワールド・リート・セレクション (アジア)	2007年7月31日から、原則として無期限です。
	ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)	2013年6月3日から、原則として無期限です。
運用方針	アジアリート・マザーファンド (以下、「マザーファンド」といいます。)を通じて、アジア (日本を除きます。) の不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	両ファンド共通 アジアリート・マザーファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 アジア (日本を除きます。) の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	両ファンド共通	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とするファミリーファンド方式で運用を行います。
	アジアリート・マザーファンド	アジア (日本を除きます。) の取引所および取引所に準ずる市場で取引されている不動産投資信託証券に分散投資し、高水準の配当収入の獲得を目指すとともに中長期的な値上がり益を追求します。運用にあたっては、リーフ アメリカ エル エル シーに外貨建資産の運用指図 (外国為替予約取引の指図を除きます。) に関する権限を委託します。
分配方針	ワールド・リート・セレクション (アジア)	毎月7日 (休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、原則として、以下の分配方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 収益分配は、主として配当等収益等から行います。ただし、6月と12月の決算時の分配方針は、それぞれの決算日に売買益 (評価益を含みます。) 等が存在するときは、配当等収益に売買益 (評価益を含みます。) 等を加えた額を分配対象収益として収益分配を行います。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。
	ワールド・リート・セレクション (アジア) (年2回決算型)	毎年4月7日および10月7日 (それぞれ休業日の場合は翌営業日) に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とします。 繰越分を含めた経費控除後の配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案して決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

(%) (2017年10月末～2022年9月末)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	34.7	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	15.7
最小値	△ 23.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4
平均値	8.1	7.7	15.7	9.2	0.1	3.4	2.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年10月から2022年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

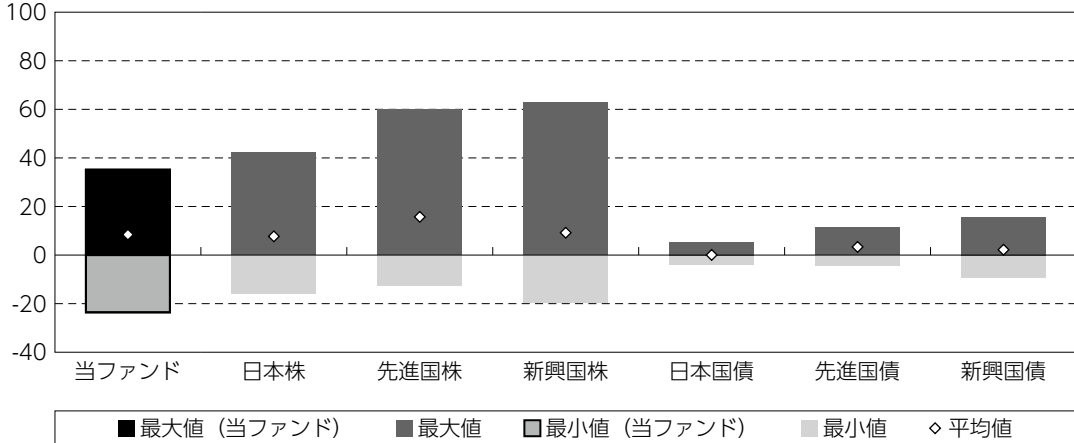
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

(%) (2017年10月末～2022年9月末)



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	35.2	42.1	59.8	62.7	5.4	11.4	15.7
最小値	△ 23.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 3.7	△ 4.5	△ 9.4
平均値	8.4	7.7	15.7	9.2	0.1	3.4	2.2

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年10月から2022年9月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



## 当ファンドのデータ【ワールド・リート・セレクション (アジア)】

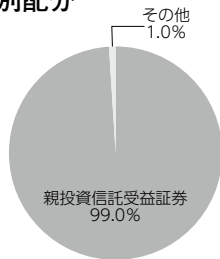
### 組入資産の内容

(2022年10月7日現在)

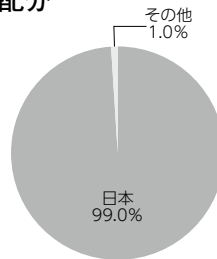
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第182期末
アジアリート・マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

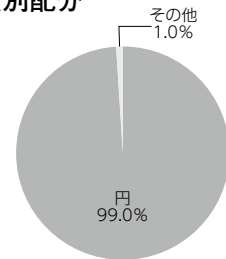
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第177期末	第178期末	第179期末	第180期末	第181期末	第182期末
	2022年5月9日	2022年6月7日	2022年7月7日	2022年8月8日	2022年9月7日	2022年10月7日
純資産総額	42,808,881,847円	39,744,752,321円	37,702,362,629円	38,388,666,849円	37,973,648,422円	34,789,495,669円
受益権総口数	82,110,584,500口	75,527,027,950口	73,279,457,176口	72,136,622,192口	71,370,508,447口	70,575,083,833口
1万口当たり基準価額	5,214円	5,262円	5,145円	5,322円	5,321円	4,929円

(注) 当作成期間(第177期~第182期)中における追加設定元本額は10,220,639,789円、同解約元本額は23,352,996,992円です。

当ファンドのデータ【ワールド・リート・セレクション（アジア）（年2回決算型）】

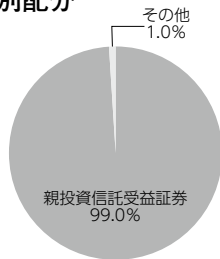
組入資産の内容

（2022年10月7日現在）

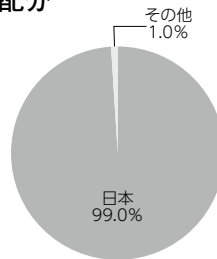
○組入上位ファンド

銘柄名	第19期末
アジアリート・マザーファンド	99.0%
組入銘柄数	1銘柄

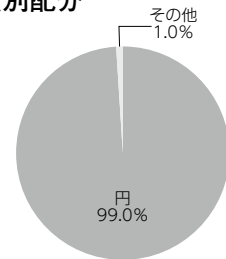
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

（注）国別配分につきましては発行国を表示しております。

（注）組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

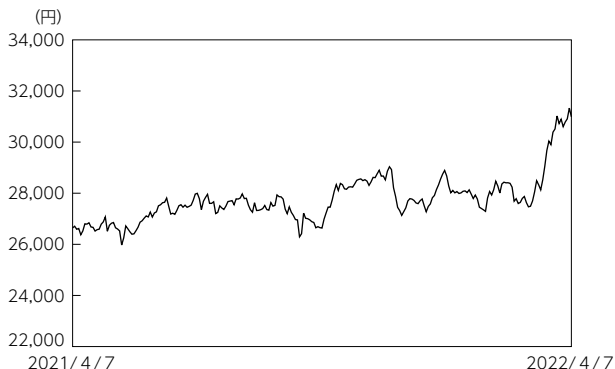
項目	第19期末
	2022年10月7日
純資産総額	985,146,738円
受益権総口数	495,896,628口
1万口当たり基準価額	19,866円

（注）期中における追加設定元本額は91,157,133円、同解約元本額は254,831,893円です。

組入上位ファンドの概要

アジアリート・マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2021年4月8日～2022年4月7日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	4 (4)	0.013 (0.013)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	7 (7)	0.023 (0.023)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	18 (18) (0)	0.063 (0.063) (0.000)
合計	29	0.099

期中の平均基準価額は、27,879円です。

(注) 上記項目の概要につきましては、運用報告書 (全体版) をご参照ください。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額 (円未満の端数を含む) を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2022年4月7日現在)

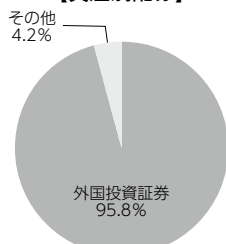
銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 CAPITALAND INTEGRATED COMMER	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	9.2%
2 LINK REIT	投資証券	香港ドル	香港	8.8%
3 FRASERS LOGISTICS & COMMERC	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	8.6%
4 MAPLETREE INDUSTRIAL TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	8.1%
5 ASCENDAS REAL ESTATE INV TRT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	7.5%
6 MAPLETREE LOGISTICS TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	6.2%
7 FRASERS CENTREPOINT TRUST	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	5.1%
8 KEPPEL REIT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.9%
9 MAPLETREE NORTH ASIA COMMERC	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.8%
10 SUNTEC REIT	投資証券	シンガポールドル	シンガポール	4.1%
組入銘柄数	39銘柄			

(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

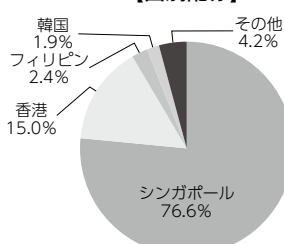
(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

(注) 国 (地域) につきましては発行国を表示しております。

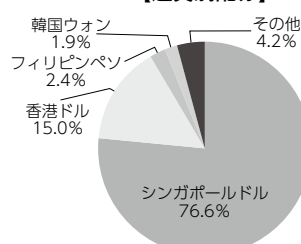
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は、運用報告書 (全体版) をご覧ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。